

場面		令和5年度実績（評価）	
共通	資源	GISを活用した介護保険事業者情報の更新	
		医療情報については「千葉医療ナビ」を案内	
		ホームページの掲載内容の見直しを実施中（会議録、つむぐ会だより、事業評価指標を掲載予定）	
		在宅療養支援診療所の実態把握調査を開始	
	情報共有	情報共有の現状やカナミックの活用についての調査実施 →カナミックを活用している人は3～4割程度。現状の情報共有ツールは電話・FAXが多数であった。	
		カナミック登録者数、開設部屋数ともに微増。実際に稼働している部屋は3～4部屋程度。	
		令和4年度会議で実施した職能紹介をカナミック上に掲載	
	情報共有システム研修会の開催		
日常の療養支援	介護と医療をつむぐ会	介護と医療をつむぐ会開催 第1回 成功事例をもとに顔の見える関係づくりと急変時の連携 第2回 多職種連携と千葉県地域生活連携シートについて 第3回 市民公開講座と合同開催「流山市でおひとりさまになっても最期までご機嫌に過ごす！備えについて語り合おう」 第4回 急変時の他職種連携 第5回 医療・在宅・消防（救急）関係者での救急要請から病院受け入れまでの情報交換会	
		参加人数が増えないため、開催時間や開催方法、内容を検討 →昼間開催、小グループでのグループワーク、全体発表を最小限にするなど工夫することで、気負わず参加でき、一定数の参加者の獲得に至った。	
		在宅医療介護連携会議と介護と医療をつむぐ会の間で双方向のやり取りをすることで、PDCAサイクルが循環し、計画と現場の医療・介護関係者の課題認識の乖離が少なくなり、現場の声を反映した取り組みにつながった。	
		市民公開講座の開催（第3回つむぐ会と合同開催）	
		おうち療養情報紙の発行	
	市民啓発	出前講座の開催「かかりつけ医の大切さと、自分らしい生き方とは」	
		その他	在宅医療・介護連携に関する相談窓口（対応1件）
			認知症初期集中支援チーム（対応6件）
	入退院支援	「千葉県地域生活連携シート」の活用の実態調査を実施し、記入すべき項目を明確化し、簡易版「千葉県地域生活連携シート」を作成し、試験的に運用予定（R6年10月まで）	
		病院相談員連絡会へ参加（3回/年）	
急変時の対応	消防との情報交換会を開催（第5回つむぐ会）		
	市民公開講座、出前講座、おうち療養情報紙等でACPの普及啓発を実施		
看取り	市内の特養・GHに対し、施設看取りに関する聞き取り調査を実施 →24施設中21施設が看取り対応可能との回答を得た。		
	看取り支援やACPに関する専門職向けの研修を開催（Zoom）		
	在宅看取り推進のための症例検討会を開催（東部圏域・北部圏域 各1回）		